

未発表の内容も含む“完全版”！

Cameraholics select 『ニッコール千夜一夜物語 II』 3月31日（木）発売

2022年3月31日
株式会社ホビージャパン

「カメラとフォトグラフィーと人」をテーマとするカメラ・写真誌「カメラホリック」を発行する株式会社ホビージャパン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：松下大介）は、Cameraholics select 『ニッコール千夜一夜物語 II』を3月31日（木）より全国の書店で発売いたします。

1998年から続く、ニコンファンお馴染みの名物連載「ニッコール千夜一夜物語」。
今回の『II』では「第四十一夜」から「第八十三夜」（未発表）までを収録！

2021年9月に当社より刊行した『ニッコール千夜一夜物語 I』は、名著復刊への歓迎ぶり、オールカラーでの作例掲載および資料的価値の高さへの高評価など、評判も上々。

今回の『II』では「第四十一夜」から「第八十三夜」（未発表）までを収録する。本書では、連載時の記事に対してレンズのスペックなどを追加して資料性を高めるとともに、記事内容については一部書き下ろししたり情報の修正等を入れ、「完全版」として刊行する。



「ニッコール千夜一夜物語」とは？

「ニッコール千夜一夜物語」とは、ニコンの光学設計者ふたりがニコン製レンズの開発ストーリーや性能を実写（作例）とともに解説するという人気連載企画。

そもそもニコンの会報誌「ニッコールクラブ」に1998年12月号から連載が開始され、第43回からはニコンのウェブサイトにもその場を移して、現在第80回。「アサヒカメラ」（朝日新聞出版刊／2020年休刊）では2014年5月から再録として休刊まで掲載されていた。その連載をまとめたものを『ニッコール千夜一夜物語 ～レンズ設計者の哲学と美学』（朝日ソノラマ・クラシックカメラ選書）として2005年に刊行。

連載記事は基本的に、1回につき1本のレンズを取りあげており、当時の設計者が何を考えていたか、どんな写りをするのか、現役の光学設計者がひともといっていく。





<2022 年 3 月 31 日発売>

Cameraholics select 『ニッコール千夜一夜物語 II』

- 定価：3,300 円（税込）
- 著者：佐藤治夫、大下孝一
- 判型：B5 判
- ISBN：978-4-7986-2748-9

【執筆者】

佐藤治夫 Haruo Sato（株式会社ニコン 光学本部 シナジー推進部 企画課 主幹研究員）

1963 年、東京都出身。1985 年に日本光学工業（現ニコン）に入社し、光学設計部門に配属。36 年間ニッコールレンズの設計を行い、現在も現役設計者として従事。これまで 35 本以上のニッコールレンズを設計し発売している。代表作は「Ai AF Zoom NIKKOR 24-120mmF3.5-4.5D」「AF-S NIKKOR 58mm f/1.4G」など。

大下孝一 Koichi Ohshita（株式会社ニコン 光学本部 第三設計部）

1962 年、広島県出身。子どものころから星を見ることが好きで、それが高じて 1985 年に日本光学工業（現ニコン）に入社。ニコノス RS 用の「R-UW AF 28mm F2.8」を最初に手がけ、以来ファインダー、交換レンズ、COOLPIX カメラ用レンズの設計に携わる。交換レンズでは「AI AF Nikkor 85mm f/1.4D IF」や「AI Nikkor 45mm F2.8P」などを設計。

<既刊のご案内>

Cameraholics select 『ニッコール千夜一夜物語 I』

- 定価：2,970 円（税込）●著者：佐藤治夫、大下孝一
- 判型：B5 判 ●ISBN：978-4-7986-2601-7

【関連リンク】

- カメラホリック公式サイト <https://www.cameraholics.net/>
- カメラホリック公式 Twitter @camera_holics
- 大人の道楽メディア <https://www.screw-hj.net/>



【問い合わせ】株式会社ホビージャパン 広報宣伝課 岡本
 TEL. 03-5304-9115 FAX. 03-5304-9318 E-mail. pr@hobbyjapan.co.jp
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-15-8 URL: <http://hobbyjapan.co.jp/>